



藤田観光株式会社
2022年12月期 第1四半期
決算説明資料

2022年5月12日
藤田観光株式会社
(証券コード：9722)

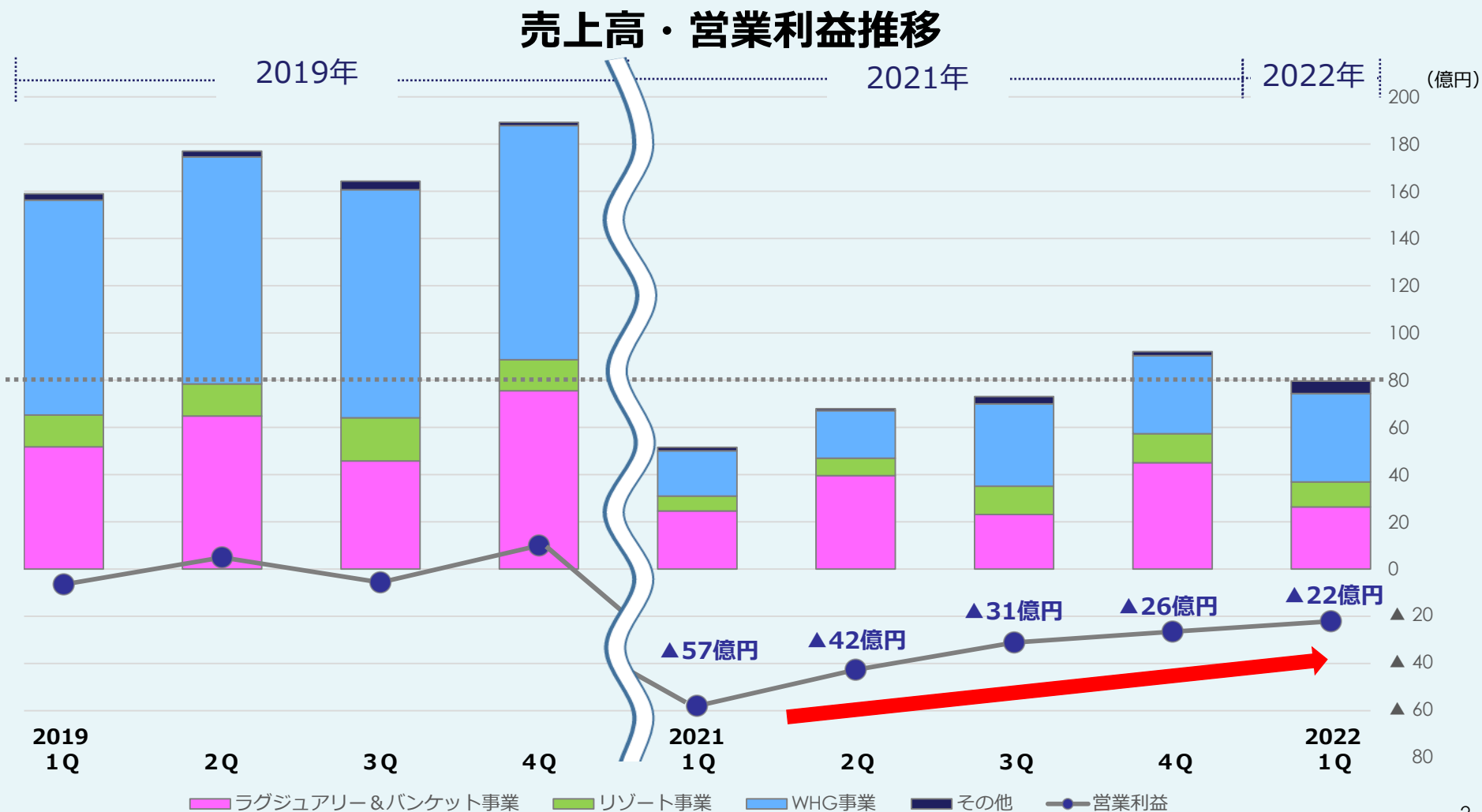
前年比55%増収、61%の営業赤字縮小

- ▶ 全ての事業で前年比増収、赤字縮小
- ▶ WHG事業では行政機関へ積極的に施設を提供（一棟貸し）、オミクロン株による回復の遅れを軽減

(百万円)	2022年 1Q実績	2021年 1Q実績	前年比	<参考> 2019年 1Q実績
売上高	7,959	5,132	2,826	15,896
WHG事業	3,752	1,849	1,903	8,941
ラグジュアリー&バンケット事業	2,629	2,247	382	4,884
リゾート事業	1,060	621	438	1,337
その他（調整額含む）	517	414	102	733
営業利益	▲2,214	▲5,794	3,580	▲653
WHG事業	▲1,326	▲3,814	2,488	342
ラグジュアリー&バンケット事業	▲515	▲1,279	764	▲496
リゾート事業	▲273	▲488	215	▲323
その他（調整額含む）	▲99	▲211	111	▲176
経常利益	▲2,216	▲6,101	3,884	▲769
特別利益	842	35,717	▲34,874	28
特別損失	—	2,533	▲2,533	6
税金費用等	▲57	3,897	▲3,955	▲151
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲1,316	23,184	▲24,501	▲595

損益計算書 (売上・営業利益推移)

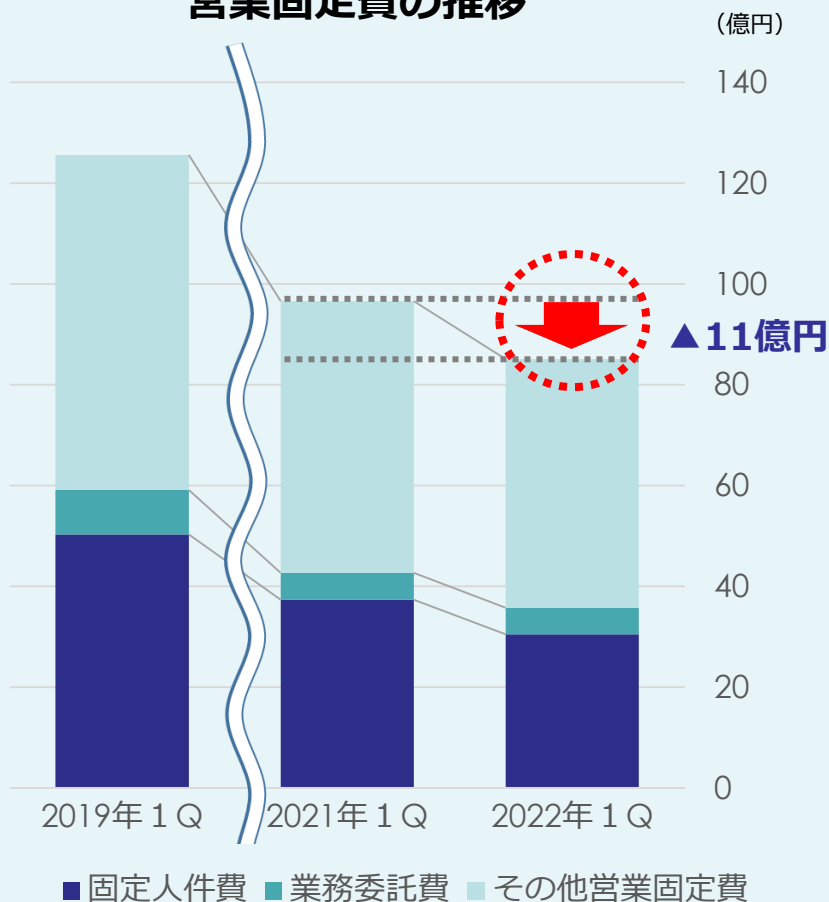
- ▶ 4 四半期連続で赤字が縮小、コスト削減は一巡し、今後は売上を引き上げる局面へ
- ▶ 回復基調にあるものの、オミクロン株感染拡大の影響を受け、売上高は2019年比で50%程度に留まる



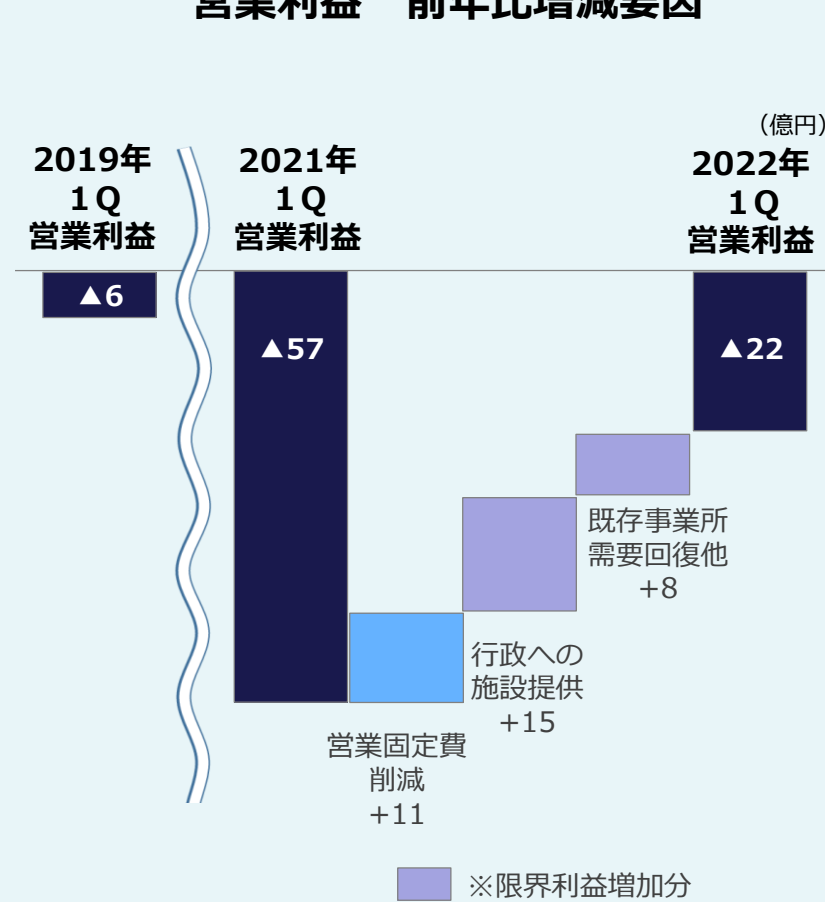
▶ 営業固定費は前年比▲11%、11億円削減

固定人件費：6.8億円削減 (2021年3月に実施した早期希望退職の効果を含む)

営業固定費の推移



営業利益 前年比増減要因



- 行政への提供（一棟貸し）や、入国・帰国時の一時宿泊利用（レジデンストラック）の取り込み等でオミクロン株感染拡大影響を軽減し、**前年比増収、赤字縮小**

【提供施設】 合計2,294室

① ホテルグレイスリー新宿（970室）

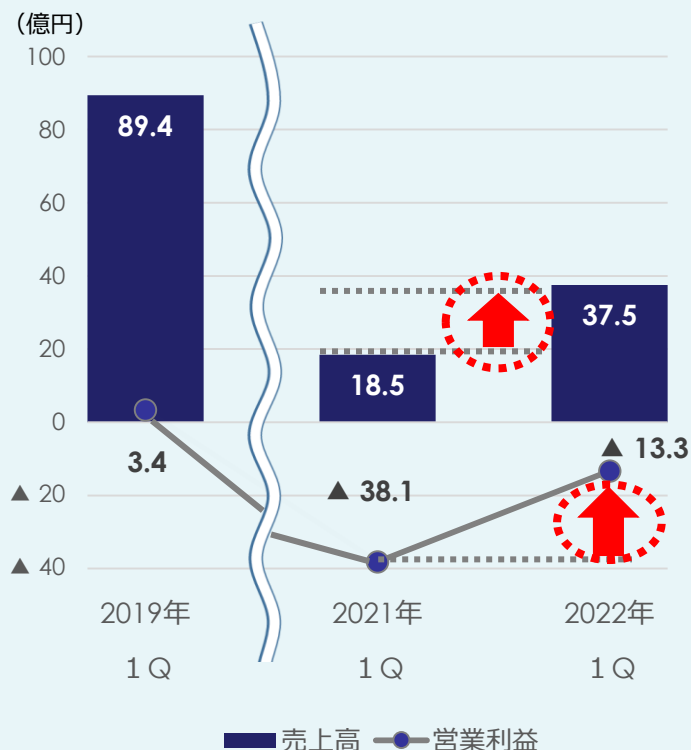
② 東京ベイ有明ワシントンホテル（830室）

※①②は現在も提供中 ③④は4月より通常営業再開

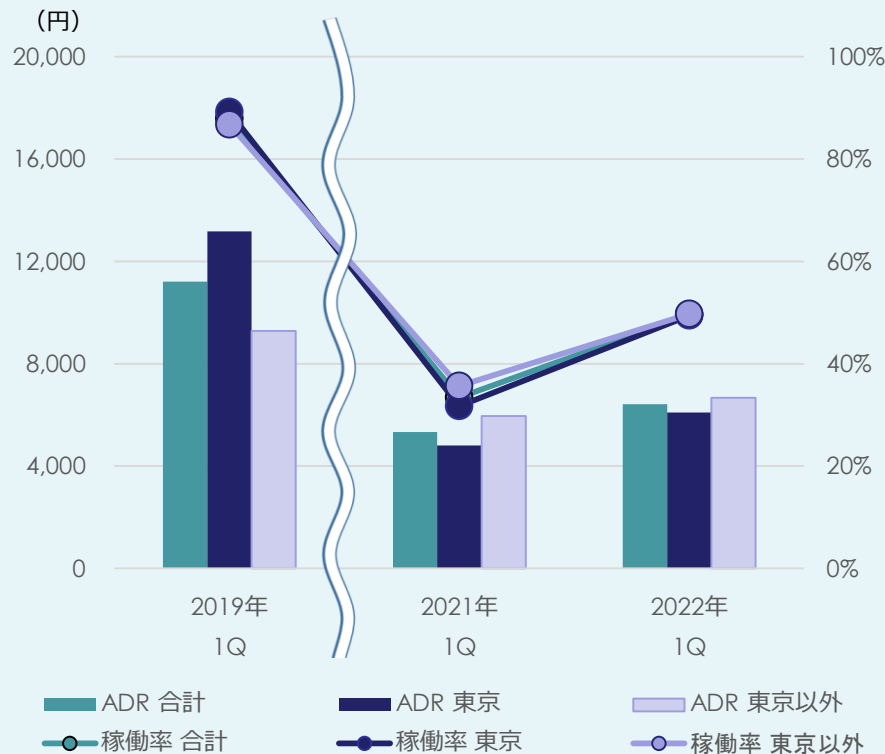
③ ホテルタビノス浅草（278室）

④ ホテルグレイスリー田町（216室）

WHG事業 売上高・営業利益推移



ADR・稼働率推移



※2022年実績には上記の提供施設①～④とキャナルシティ・福岡ワシントンホテル（工事のため3月まで営業休止）は含まず

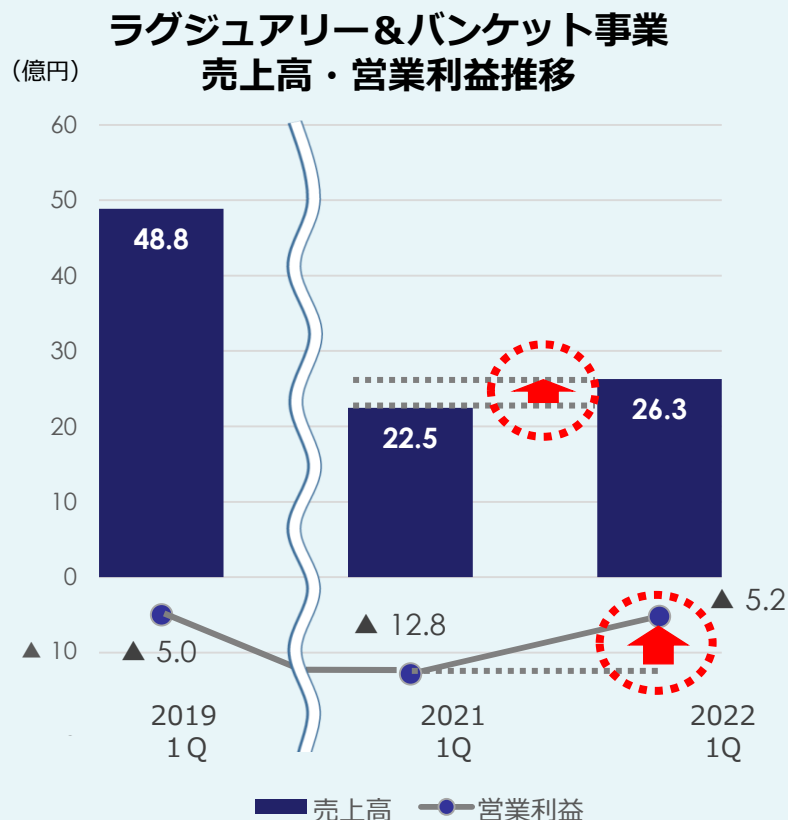
「ホテル椿山荘東京」が好調に推移、前年比増収、赤字縮小

【ホテル椿山荘東京】

- 宿泊部門：「東京雲海」関連商品展開の効果により、稼働率・ADRともに前年比プラス
- 婚礼部門：2021年からの延期も含め、実施件数が前年比65%増、人員75%増
- 料飲・宴会部門：個人慶事利用やお花見ビュッフェなどの利用が回復傾向

【カメラアヒルズカントリークラブ】

- 受客状況に合わせたプラン設定や新規会員獲得により前年比17%増収



ホテル椿山荘東京 営業指標 前年・2019年との対比 (1~3月)

	前年比		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
宿泊部門	+6.2%	+9.4pt	+21.0%	▲29.3pt
婚礼部門	一人あたり 単価※	人員	一人あたり 単価	人員
	▲6.0%	+75.9%	+52.5%	▲50.0%
宴会部門	一人あたり 単価	人員	一人あたり 単価	人員
	+34.2%	+110.5%	+15.8%	▲83.7%

※婚礼部門一人あたり料理単価は前年比+4.7%

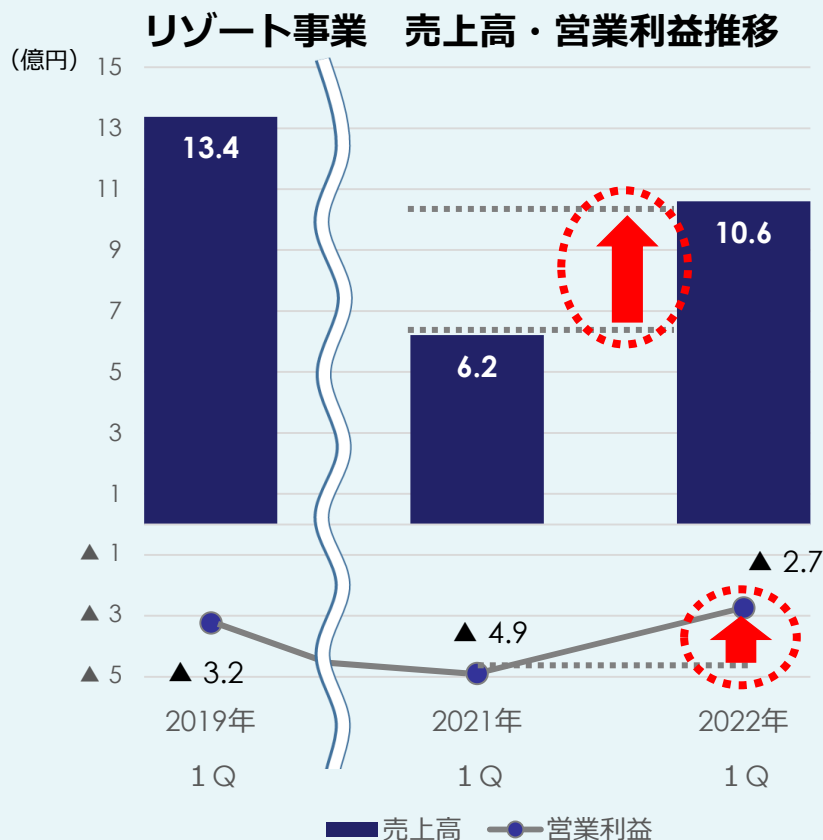
2019年比8割まで売上が回復

【箱根小涌園 天悠】

- 平日はテレワークプランが好調
- 週末は部屋食付きおこもりプラン販売を強化、ほぼ満室稼働となる

【藤乃煌 富士御殿場（グランピング施設）】

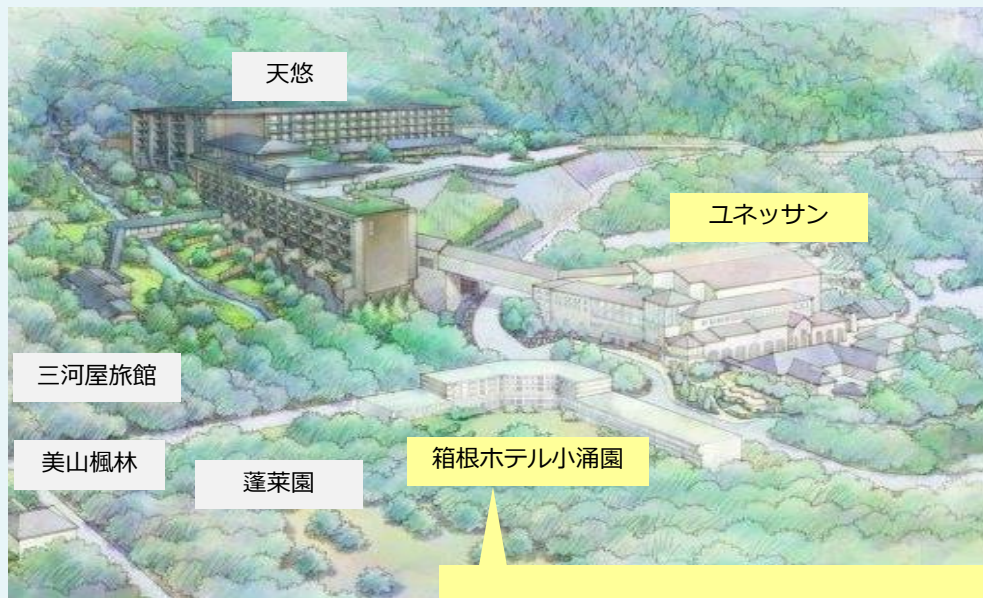
- アウトドア需要の高まりを受け、好調に推移



営業指標 前年・2019年との対比（1～3月）

	前年比		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
箱根小涌園 天悠	▲13.0%	+37.9pt	▲0.8%	▲8.1pt
藤乃煌 富士御殿場	▲20.3%	+20.4pt	+48.6%	+27.9pt

▶成長投資により、箱根小涌園の事業ポートフォリオにおいて不足する、中価格帯（マーケットのボリュームゾーン）の需要を取り込み、幅広い顧客層ニーズに対応



【箱根ホテル小涌園】

- 2023年7月開業に向け計画通りに建設が進捗

<概要>

部屋数：150室（予定）
付帯施設：露天風呂付き大浴場、貸切風呂、レストラン等
開業：2023年7月（予定）
投資額：約60億円



【箱根小涌園ユネッサン】

- 4つのゾーンを整備し、体験型の複合リゾートへ
- 本年より順次機能を強化

アクティブゾーン

イベントゾーンやリラクゼーションルームを拡張し、動・静それぞれのアクティビティを充実

賑わいゾーン

箱根の情報発信基地として箱根DMOのインフォメーションセンターを設置
フードコートやお土産コーナー等を整備

アウトドアゾーン

アスレチックや、箱根初の手ぶらで楽しめるキャンプ場を新たに整備

森の湯ゾーン

貸切風呂を増設し温浴施設としての魅力を向上

部門別売上高および主要事業所の営業指標

部門別売上高（1～3月）

(百万円)		部門	売上高 実績	前年比
W H G	宿 泊		3,407	1,888
	そ の 他		345	14
ラグジュアリー& バンケット	宿 泊		347	27
	婚 礼		1,162	187
	宴 会		247	80
	料 飲		538	40
	そ の 他		333	46
リゾート	宿 泊		837	363
	日帰り・ レジャー		182	74
	そ の 他		40	0

営業指標 前年との対比（1～3月）

宿泊部門			ADR	稼働率
W H G	合計		+20.3%	+16.2pt
	東京		+26.9%	+17.7pt
	東京以外		+12.0%	+14.1pt
ホ テ ル 椿 山 荘 東 京			+6.2%	+9.4pt
箱 根 小 涌 園 天 悠			▲13.0%	+37.9pt

婚礼・宴会 部門	婚礼 一人あたり 単価	婚礼 人員	宴会 一人あたり 単価	宴会 人員
ホ テ ル 椿 山 荘 東 京	▲6.0%	+75.9%	+34.2%	+110.5%

日帰り・レジャー部門	入場人単価	入場人員
箱 根 小 涌 園 ユ ネ ッ サ ン	+1.9%	+72.5%

貸借対照表

- ▶ 総資産は前期末比32億円減少の1,094億円
- ▶ 純資産および自己資本比率は前期末と同水準

	2020年末	2021年末	当四半期末
純資産	13.4億円	288.3億円	285.3億円
自己資本比率	1.2%	25.4%	26.0%

(百万円)

<資産>		2022年3月	2021年12月	増減	主な増減要因
流動資産合計		39,592	44,276	▲4,684	現預金の減少
固定資産合計		69,888	68,486	1,402	投資有価証券の時価上昇
資産合計		109,480	112,762	▲3,282	
<負債・純資産>		2022年3月	2021年12月	増減	主な増減要因
流動負債合計		22,220	23,935	▲1,714	借入金返済等による減少
固定負債合計		58,725	59,993	▲1,268	借入金返済等による減少
負債合計		80,946	83,929	▲2,982	
純資産合計		28,534	28,833	▲299	利益剰余金が減少した一方で、 その他有価証券評価差額金が増加
負債純資産合計		109,480	112,762	▲3,282	

2022年12月期 業績予想

▶ 足元では想定の範囲内で推移しているため、2022年2月10日に公表済の業績予想を据え置き

(百万円)

	第2四半期		通期	
	2022年 2Q累計	前年比	2022年 通期	前年比
売上高	16,600	4,671	39,800	11,366
WHG事業	6,900	3,100	18,000	7,565
ラグジュアリー&バンケット事業	5,600	▲357	13,000	558
リゾート事業	2,100	754	4,800	1,050
その他（調整額含む）	2,000	1,173	4,000	2,190
営業利益	▲4,600	5,456	▲6,000	9,822
WHG事業	▲2,900	4,410	▲4,100	7,995
ラグジュアリー&バンケット事業	▲800	686	▲600	1,267
リゾート事業	▲400	480	▲700	426
その他（調整額含む）	▲500	▲121	▲600	133
経常利益	▲4,600	5,744	▲6,200	10,342
当期純利益	▲4,600	▲24,000	▲5,900	▲18,575

戦略Ⅰ 構造改革 の推進

コロナ禍影響の最小化、コロナ収束後の収益最大化のため、費用対策のみならず、組織や制度等の見直しを含めた根本的な対策を実施

- ◆ 不採算事業対策、コスト削減を継続実施
- ◆ 人事制度の改定
 - 2022年4月より、メリハリのある制度運用が可能な仕事基準（職務と遂行度）による新人事制度を導入

戦略Ⅱ 事業ポート フォリオの 見直し

将来の持続的な成長・収益拡大を見据えた施策展開

- ◆ 会員プログラムの刷新
 - 2022年4月11日、「THE FUJITA MEMBERS」にリニューアル
- ◆ WHG事業における赤字最小化と将来の成長に向け、販売力強化と業務効率化を基軸として事業モデルの見直しを推進
 - 【国内需要】・フランチャイズホテルを含めたチェーン共通の販促
 - ・「THE FUJITA MEMBERS」会員獲得による顧客化
 - 【海外需要】・足元ではレジデンストラック等の需要を取り込み、往来再開時に向けた販売につなげる

施設一覧 (2022年5月12日現在)



2022年12月期 第1四半期決算説明資料

WHG事業		リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
◀宿泊▶ 36拠点 10,827室		◀宿泊▶12拠点 560室 (開業予定1拠点含む)		◀宿泊▶ 1拠点 267室	
■ワシントンホテル (21拠点 6,619室)		■ホテルグレイスリー (11拠点 3,198室)		ホテル椿山荘東京 267室	
仙台	223室	札幌	440室	◀婚礼・宴会▶ 3拠点	
新宿 (本館)	1,280室	銀座	270室	マリーエイド	
秋葉原	369室	田町	216室	ルメルシェ元宇品	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	ザ サウスハーバーリゾート	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	◀レジャー▶ 1拠点	
浦和	140室	京都三条 (北館)	97室	カメラアヒルズカントリークラブ	
広島	266室	京都三条 (南館)	128室	◀レストラン▶2拠点	
キャナルシティ・福岡	423室	大阪なんば	170室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
山形七日町【FC】	213室	那覇	198室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形駅西口【FC】	100室	ソウル	336室	会員制リゾートホテル	
会津若松【FC】	154室	台北	248室	◀宿泊▶ 7拠点 460室	
郡山【FC】	184室			■ウイスタリアンライフクラブ	
いわき【FC】	148室	■ホテルフジタ (1拠点 354室)		ヴェルデの森 100室	
立川【FC】	170室	福井【FC】	354室	箱根 18室 熱海 54室	
木更津【FC】	146室			宇佐美 58室 鳥羽 76室	
燕三条【FC】	103室	■ホテルタビノス(3拠点 656室)		野尻湖 64室	
関西エアポート【FC】	504室	浜松町	188室	プロミネント車山高原 90室	
関西泉大津【FC】	151室	浅草	278室	その他事業	
宝塚【FC】	135室	京都	190室	◀宿泊▶ 1拠点 214室	
佐世保【FC】	190室	海外現地法人・駐在員事務所		ISORAS CIKARANG 214室	
新宿 (新館) 【MC】	337室	上海			

上場取引所	東京証券取引所プライム市場（2022年4月4日現在）	
社名	藤田観光株式会社	
証券コード	9722	
単元株式数	普通株式	100株
	A種優先株式	1株
事業年度	毎年1月1日～12月31日	
基準日	12月31日	
配当金支払株主確定日（普通株式）	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日	
定時株主総会	毎年3月	
発行済株式の総数	普通株式	12,207,424株
	A種優先株式	150株
	計	12,207,574株
発行可能株式総数	普通株式	44,000,000株
	A種優先株式	150株
	計	44,000,150株
決算期	毎年12月31日	

IR担当部門（お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経理・財務IR部

TEL : 03-5981-7727

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、注記を行っている場合を除き、2022年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。